

四天王寺大学看護学部看護実践開発研究センタープログラム

抱え上げない、持ち上げない、自立支援の  
ための介助方法を学ぶプログラム

# キネステティクス

目から  
ウロコの！

## ベーシックコース 全3日

- 看護・介護職・セラピストをはじめ  
興味があればどなたでも参加できます
- 全日参加で修了証が授与されます
- 体を動かして学習するボディワークが  
大半を占めますので、動きやすい服装、  
靴下の着用をお願いします
- チラシの裏面もご覧ください



## 2024年

6月29日(土)  
9:00～17:30

30日(日)  
9:30～18:00

7月6日(土)  
9:00～17:30

実習機関割引30%OFF  
受講料：29,400円

受講料：42,000円  
(全日分・テキスト代込み)

会場 四天王寺大学看護実習室  
羽曳野市学園前3-2-1 (駐車場無料)

お申し込み・お問い合わせはこちら

四天王寺大学 地域連携推進センター

☎ 072-956-3345 (平日9:30～17:30)

✉ [chiiki\\_kenkyu@shitennoji.ac.jp](mailto:chiiki_kenkyu@shitennoji.ac.jp)

こちらからも  
申し込み  
できます！



## キネステティクス®とは何か

キネステティクス®とは、行動サイバネティクス博士であるレニー・マイエッタ博士とフランク・ハッチ博士によって創始された「動きの学問」です。1980年頃から欧州の看護教育に広く取り入れられ、日本では2000年以降に導入されています。「健康増進」として、ひとの動きを考え、介助に応用しています。ひとの動きや介助方法を科学的根拠から学ぶので、様々な年齢・体の状態・健康状態・疾患や障がい・活動内容・生活環境に応用ができます。

## キネステティクス®に基づくケア（介助）が他の介助方法とは異なる点

最も異なる特徴は、どんな時でも「本人が抱えあげられたり、持ち上げたりしない」ことです。本人をリフトなどの機械や道具によっても持ち上げません。これは、本人の健康向上と自立を目的にひとの自然な動きを考えることで可能になり、本人にとっても楽に動くことができます。

介護や看護の場面では「大きなお世話」によって、その人の力を奪い動けなくしている現状を目にします。それは宇宙飛行士が重力のある地球に帰ってくると骨や筋肉が廃用性の機能低下を起こす状況と似ています。本人の体（力）を使用しないと、人はあらゆる機能低下を起こします。ケア提供者には、本人主体の自立支援を目指すために、科学的根拠のある知識と技術が必要なため、キネステティクスでは「方法」と同時に「理由や根拠」を学びます。「理由や根拠」がわかっていたら、どんな人でも場合でも応用することができます。

また、同様に介助者の健康向上も重視します。持ち上げない、抱え上げない、力を使わない介助方法なので腰痛などの負担がなく、介助者も安楽に援助することができます。

## キネステティクス®コースの特徴

この教育プログラムの内容と実績は海外で高く評価されており、創始者のマイエッタ博士とハッチ博士が日本版を開発して保証したものが、キネステティクス・ジャパンの提供する教育プログラムのコースになります。ひとの動きや介助方法を科学的根拠から学ぶための教育プログラムの質保証のため、各コースに時間数や使用するための教材が決められています。例えばベーシックコースでは18時間以上の学習が必要です。コースを修了されると修了証が授与されます。

今回の体験会はベーシックコースの一部を体験するコースですが、すぐに参考になるものも学べます。

コース	概要
ベーシック	自分の身体の動き、身体の使い方、相手とのコミュニケーションを体験学習するコース
アドバンス	様々な身体の状況での動きの問題を、ベーシックコースで学習した概念を使い、分析を行う
認定プラクティショナー	認定プラクティショナーコースでは、キネステティクスの科学的根拠をより詳細に学ぶ。
インストラクター	各レベルがあり、インストラクターライセンスを得るとそのライセンスによってコース開催が可能になります

